



相談室だより

山形市立高楯中学校
R4. 12. 20 (No. 9)
文責：加藤

★ 1月予定表 ★

日	月	火	水	木	金	土
1 閉校日	2 閉校日	3 閉校日	4	5	6 三学期始業式	7
8	9 成人の日	10	11	12	13	14
15	16	17 加藤 楯山小訪問	18	19 松崎 SC 12:00~18:00	20	21
22	23	24	25	26 加藤 高瀬小訪問	27	28
29	30	31				

※市教育相談員（加藤）は高楯中に常勤しております。（8：45～15：30）

相談について

〈予約相談〉

相談を希望する人は、担任や学年の先生、部活の先生等に連絡しましょう。

＊話しやすい先生で大丈夫です。

そのあと、教育相談担当（齋藤先生）から相談日時を希望者に伝えます。

〈自由相談〉

2階の教育相談室を訪ねてみましょう。（時間は基本的に休み時間です）

＊保護者の方も相談できます。

- ・お電話（686-6029）、または担任や学年や部活の先生など学校の職員にお伝えください。
- ・教育相談担当が日時を調整しご連絡いたします。

＊学区内の小学校を定期訪問しています。

- ・1月の訪問日は、楯山小17日（火）、高瀬小26日（木）です。

＊学区内の小学生や保護者の方も相談できます。

教育相談担当（齋藤）・市教育相談員（加藤）までお気軽にお申し込みください。



今月のお悩み

親の口出しがうるさい

親がやたらに口出ししてくる。他の友達なら許されていることでも、うちはダメ。何も信用してくれない。

★ 親は不安で仕方ない！

親がうるさく口出ししてくるにはいろいろな理由がありますが、以前お話しした「怒っている人は困っている人」という原則を思い出してください。なぜ困っているのかといえば、思春期にありがちなのは、親の不安。子どもの自由が増し、独自の世界が広がっていくことは、もちろん健全なことなのですが、子どもの安全を心配する親にとっては不安になることでもあるのです。

「もしも何かの事件に巻き込まれたら…」「もしも悪い友達ができたら…」「もしも今の反抗的な態度のまま大人になって、社会で通用しない人間になってしまったら…」などと考え始めると、心配は尽きないのです。

つまり一言で言えば、子どもが徐々に大人になりつつあるのに、親はいつまでも子どもとして見ているために、不安が強く、小さな子どもに対するような干渉をしてしまっている、ということになるでしょう。

そんなときに子どもが「うざい」などと反抗的な態度を取ったりすると、ますます親の不安を増やしてしまいます。「やっぱりこの子には何かよくない問題が起こっている」「きっと悪い友達がいるのだろう」「こんな態度を取るなんて、社会に出たらどうなるのだろう」「外でもこんな態度をとっていたら、よい友達ができなくなるのではないか」などと心になるのです。

★ 「自分はもう子どもではない」ということを示していくのが一番！

いろいろうるさく言われたら、「心配だろうけど、もう小さな子どもではないんだから、自分でいろいろ考えてやっているよ」「そういうことはもう分かっているから大丈夫」などと穏やかに言ってみましょう。「何も信用してくれない」と怒っていると、そのような態度を取るのには難しいかもしれません。しかし、親のことを小さな子どもの安全を心配している「困っている人」としてみれば、少し安心させてあげよう、と思えるのではないのでしょうか。

そうやって穏やかに言われると、大人は「案外頼もしい」「しっかりしてきた」「成長した」と感じるものです。少しは自分でやらせてみよう、と思いやすくなるでしょう。

